

【概要】

令和元年度の実施状況について、各機関のソフト及びハード対策の取組を共有した。また、令和2年度の取組予定として、「住民向け防災計画作成支援(マイハザードマップ及びマイタイムラインの普及)、小学校を対象とした防災教育資料の普及、外国人への防災講座の運営支援、企業向け防災教育支援ツールの検討及び作成、排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施、多機関連携タイムラインの実施方針」について共有を行った。

さらに、既存ダムの洪水調節機能の強化を図るために開催した**ダム部会の概要及び締結した治水協定の共有**、昨年令和元年東日本台風を踏まえて、従前より一歩踏み込み、河川対策に加え、流域対策(集水域と氾濫域)と、ソフト対策を盛り込んだ「**流域治水プロジェクト(仮称)**」について情報を共有した。今後のスケジュールについては、幹事会や担当者会議により協議を行い、次回の協議会で報告する。

開催日・場所: 書面開催

【主な意見(意見照会)】

(1) 令和元年度の実施状況・令和2年の実施予定

- ・特に意見無し。

(2) ダム検討会その後の経過

【江津市】

- ・浜原ダムの効果等については地元説明も行っていただきたい。

【邑南町】

- ・広島県側のダム放流情報や上流側の河川水位の情報が重要である。

【美郷町】

- ・広島県側のダム貯留効果は大きいと思う。

(3) 流域治水プロジェクトについて

【美郷町】

- ・「水害に強い地域づくりのための移転集約WG(仮称)」については、一般論ではなく、自治体ごとに、個別に具体的な議論を行うことがよいと考える。例えば、コンパクトシティといった考え方は、地域によっては、高齢者が別転地に移動すること等困難である。

令和2年度 第1回
江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会
(書面会議)

議事次第

1. 開会
2. 議事
 - (1) 令和元年度の実施状況について…………… P2
 - (2) 令和2年度の実施予定について…………… P30
 - (3) ダム検討会その後の経過(協定締結)…………… P37
 - (4) 流域治水プロジェクトについて…………… P53
 - (5) 今後のスケジュール…………… P62
3. その他

※この協議会で対象とする江の川水系(下流)とは、一級水系江の川のうち、島根県内の江の川を示す。